

プレスリリース
2024年2月

歴史あるクラシック



歴史的な時計から生まれる新たな輝き： Telemeter Edition JF

テレメーターには長い伝統があります。1951年、ユンハンスはテレメーターとタキメーターの表示を組み合わせたクロノグラフを初めて発表しました。そして今回、歴史的なタイムピースに新解釈を加えたモデルを発表。当時のクラシックなクロノグラフのようなエレガントでスポーティな外観が魅力で、ゴールドカラーのケースとブラックのダイヤルが組み合わせられて、モダンでレトロな風貌を与えています。

このような付加機能を備えた時計は珍しく、ユンハンスはこうした時計を提供する数少ないメーカーのひとつです。新しいTelemeter Edition JFは、ユンハンスのハネス・シュタイム取締役が亡き友人の遺族から譲り受けた、当時としては希少なゴールド・モデルが発想の源になっています。シュタイムは、この特別な一本に感銘を受け、このスポーティでエレガントなモデルに新解釈を加えたタイムピースを求めました。「当初、私のために1本だけ作られる予定でしたが、この新しい時計は、社内にも多くのファン

がいたので、数量限定で生産されることになりました」とハネス・シュタイムは語っています。そして今回、150本限定で生産されます。

光と音

新しいTelemeter Edition JFは、ステンレススチールケースにイエローゴールドのPVD加工が施され、オリジナルを踏襲したブラックのダイヤルとなっています。この時計の名前にもなっているテレメーター目盛はグレー地にレッドでプリントされています。この目盛は、雷雨のような光と音の両方を発する現象の距離を測定するために設計されています。これは、光と音の速度が異なるという科学的現象に基づいています。光は1キロメートル進むのに3ミリ秒という信じられないほど短時間しかかからないのに対し、音は3秒かかります。つまり、空に稲妻が見えたらクロノグラフをスタートさせ、雷鳴が轟いたらすぐに止めます。そうすると、雷からの距離をテレメーターの目盛で読み取ることができます。追加のタキメーターの目盛は、ダイヤルの一番外側にシルバーでプリントされていて、例えば自動車で高速道路を走行する際の平均速度を計測するのに使えます。路面標示を頼りに、1キロに必要な時間をクロノグラフで測れば、平均速度をkm/h単位で目盛に読み取ることができます。

高級仕様

新しいTelemeter Edition JFは高級な仕様です。ルミナス加工の数字を配した高品質のダイヤルは反射防止コーティングのサファイアクリスタルで覆われ、時刻がとても読みやすくなっています。クロノグラフには自動巻ムーブメント、キャリバーJ880.3を搭載し、表面はロジウム仕上げになっています。様々なムーブメント部品とローターに施されたカットアウト、そしてブルースクリューは、ケースバックの覗き窓から眺めを楽しめるようになっています。テレメーターの目盛の色に呼応するようにグレーのステッチが施されたブラックのレザーストラップが付いています。

Telemeter Edition JF 仕様



27/3480.02

- ムーブメント：** 自動巻ムーブメントJ880.3、42時間パワーリザーブ、スモールセコンド
- クロノスコープ：** ストップセコンド、30分積算計、タキメーター、テレメーター
- ムーブメント仕上：** ロジウムプレート仕上げ、ストライプ仕上げのローターとロゴの刻印、ダイヤモンドカットバレル、輪列、バランスブリッジ、ブルースクリュー
- ケース：** イエローゴールドカラーPVD加エステンレススチール、直径 40.8 mm、厚さ 12.6 mm、4本の留ネジ付きミネラルガラスのシースルーバック
- ガラス：** 反射防止コーティングドーム型サファイアクリスタル
- ダイヤル：** サンレイ仕上げのブラック、環境にやさしいルミナス加工の数字、シルバープリントのタキメーター、レッドのテレメーター目盛
- 針：** 槍形の針、環境にやさしいベージュ・ルミナス加工の時針と分針、レッドのカウンターウェイト付きストップセコンド針
- ストラップ：** レザーストラップ、グレーの縫い目とPVD加エステンレススチール製バックル付き
- 防水性：** 5気圧
- 限定：** 150本